

NEWSLETTER

No. 45

2 April 2010

・教室をめぐる動き	・ ・ ・ ・ 1
・2010 年度地理学教室行事予定	・ ・ ・ ・ 1
・東京スカイツリーが見えるようになりました	・ ・ ・ ・ 2
・地理実習室および地理情報処理室（世田谷 10 号館）の利用について	・ ・ ・ ・ 3
・地理学教室・購入図書資料リスト（2009 年度）	・ ・ ・ ・ 4
・地理学教室・購入主要備品リスト（2009 年度）	・ ・ ・ ・ 5
・製本・PDF 化して保存される卒業論文主題（2009 年度）	・ ・ ・ ・ 6
・2010 年 3 月卒業生の進路・就職先	・ ・ ・ ・ 6
・2009 年度における教員の研究活動	・ ・ ・ ・ 7

【教室をめぐる動き】

2010 年度を迎えるにあたり、次のような先生方の動きがあります。

<文学部学生主任に>

岡島 建 先生

<地理・環境専攻主任に>

内田順文 先生

今年度の専攻主任・学年担任・大学院幹事は以下の各先生です。

専攻主任	内田 順文	1 年	加藤 幸治	2 年	磯谷 達宏
		3 年	長谷川 均	4 年	宮地 忠幸
大学院幹事	長谷川 均				

【2010 年度地理学教室行事予定】

6 月 1 日 ～2 日	1 年地理野外実習（地理学野外実習 A）
6 月 12 日	国士舘地理学会
10 月 4 日～ 5 日	2 年地理野外実習（地理学野外実習 B）
10 月 26 日～29 日	3 年地理野外実習（地理学野外実習 C）
12 月 10 日	卒業論文提出 締切（15:00）
12 月 18 日	国士舘地理学会
2 月 5 日, 7 日, 8 日	卒論公開口頭試験

【東京スカイツリーが見えるようになりました】



上の写真は 34 号館（梅ヶ丘校舎）からほぼ真東を見たものです。

左に新宿の高層ビル群。その右の鉛筆型のビルはドコモタワー（NTT ドコモ代々木ビル）です。写真右側には渋谷のセルリアンタワーと重なって分かりにくいですが、六本木ヒルズも見えます。ドコモタワーと六本木ヒルズの間（写真の白矢印あたり）に 2 つの高い構造物が見えます。

分かりにくいので、アップしたのが下の写真。



中央の黒いビルに白い構造物がのっているビルは NHK 放送センター（渋谷の NHK 本部、スタジオパークのあるところ）です。その右の丸く白いタンクのようなものがのっているのが、ホテル ニューオータニ・ガーデンタワー。

NHK の左に見えるのが、そうです、東京スカイツリー。写真を撮影したのが 2010 年 3 月 30 日。スカイツリーが日本一の高さの建造物になった翌日です（東京タワーの高さを超えた部分も黒く写ってます）。

いずれも冒頭にあるように 34 号館からみた風景ですが、実は 34 号館のどこからでも見えるわけではありません。NHK が邪魔でスカイツリーが見えない位置も少なくないので、10 階のスカイラウンジ（普段は食堂となっています）のどこからなら見えるのか、是非探してみてください。肉眼であれば、もっとはっきり見えます。

2 枚の写真。さすがに白黒では分かりにくいところもありますが、Newsletter は web でも公開しており、そこらはカラーで見られます。最近の Newsletter は実習写真等もカラー版ですので、一度見てみて下さい。

<http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/chiri/NewsLet/NEWS.HTM>

今回のような話題は、毎月更新される教室ホームページの記事・「今月の地理写真」にあります。意外と勉強になることもありますので、時々チェックしてみてください。フロントページからも迎えます。

<http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/chiri/Photo/BacNumber.htm>

ちなみに昨年度に取り上げられた題材は以下のようなものです。

2009 年 4 月	ドイツの鉄道
2009 年 5 月	廃線から 10 年、蒲原鉄道の跡をたどる旅
2009 年 6 ～9 月	フロム鉄道の旅（1）～（4）
2009 年 10 月	多摩丘陵の地形とその改変
2009 年 11 月	スイスの鉄道風景（2）
2009 年 12 月	北アメリカの大陸分水嶺を南下
2010 年 1 月	東京急行電鉄の取り組み
2010 年 2 月	新潟県湯沢町苗場地区にみるスキーリゾート地の今
2010 年 3 月	ゆいレール 沖縄都市モノレール

同様の記事として「今月の衛星写真」もあります。Check it out !

<http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/chiri/EarthWacht/BN.htm>

【地理実習室および地理情報処理室（世田谷 10 号館）の利用について】

（※ よく読むこと）

1. 世田谷 10 号館 2 階（10201）に地理・環境専攻の学生のための地理実習室があります。地理実習室は、学生の学習用に利用できます。利用法をよく読んで、積極的に活用して下さい。

利用時間と利用方法

毎日 9：00～18：00（原則）

- ・利用希望者は 5 号館文学部事務室で、カギの貸出簿に、必要事項を記入の上、カギを受け取る。解錠後は所定のカギ掛け（マップケースそば）にカギを掛けておくこと。カギを借り出した者は、退室時には必ず施錠し、カギを文学部事務室に返却すること。
- ・退出時に他の学生がいて継続して利用したい場合は、あらためてカギを借り出すこと。カギの又貸しは、原則禁止します。
- ・教員が在室している時は、事務室でカギを借りなくても、自由に入室できます。ただし、教員が退室する場合は、在室者・利用希望者が事務室からあらためてカギを借り出すこと。
- ・**地理実習室は飲食禁止**です。整理整頓を心掛け、**ゴミ等は廊下にあるゴミ箱に分別して捨てて下さい**。
- ・地理実習室は学習・研究のためのスペースですので、**携帯電話も使用禁止**です。通話・利用等は玄関か屋外でして下さい。

2. 実習室には地理学に関する基本的図書（多くは貸出可。貸出方法は下記参照）、地理学関連の辞典もあります。復習・レポート作成時に役立ちます。以前、本地理学教室の教員であった大崎晃先生、日本地理学会元会長・東京大学名誉教授の吉川虎雄先生のご遺族より寄贈いただいた地理学及び関連分野の図書等も配架してあります。こちらも有効に利用して下さい。

国勢調査、事業所統計、工業統計、商業統計、農業センサスなど主要な統計（南関東の諸都県のものを中心）、道路統計年報、港湾統計年報、特定サービス産業実態調査報告書など図書館にない資料もあります。人文地理関係の科目で有効に活用できます。地理学の専門学術雑誌として、地理学評論（数年分）、経済地理学年報（約 20 年分）もあり、最新号が発行されるごとに配架されます。

統計類、雑誌類および辞書類の貸出は禁止です。統計・雑誌の一次持ち出し（コピー）は、教員の許可があればできます。

3. 実習室内には地理・環境関係図書、地理・環境専攻学生専用の端末（PC）とプリンタ、スキャナ等が設置されています。これも学習用に利用できます。情報科学センターの講習を受けた学生に限り、インターネット、メール、その他のソフト（オフィス系）を使用することができます。利用上の注意は、情報科学センターの端末と同様です（**学習に関係ないネット閲覧、ゲーム等は禁止**です）。なお、GIS やリモートセンシング関連のソフトもインストールされているので、宿題や課題などもこれらの PC で行うことができます。

4. 情報実習室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

なお、地理実習室内には防犯を目的として 2 台のネットワークカメラが設置されています。このカメラで撮影された動画は、地理情報処理室にあるネットワークハードディスクに保管されています。防犯と危機管理の面からもカメラの設置は必要ですので、理解と協力をお願いします。

5. 地理実習室の向かいにある地理情報処理室は基本的に研究向けスペースとなります。特殊なソフト・機器等を利用するためのスペースと考えて下さい。使用については教員と相談して下さい（同級生が在室・作業等していても、通常利用の学生は地理実習室の方を利用して下さい）。

実習室の図書の閲覧および貸出方法（※ 必ず読んで、ルールを熟知すること）

- ▼ 研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、実習室内でのみ閲覧・利用して下さい。
- ▼ 利用する人は（教員も含めて）、見たり借りたりした本を必ず元の位置に戻すようにして下さい（図書は分野別に配架されています。おおよその位置は借り出す際、覚えておいて下さい）。多くの学生・教員が利用します。実習室に図書・資料を放置することなどないよう、注意しましょう。
- ▼ 貸出は、「図書貸出簿」（雑誌ラックに置いてある青色の B4 ファイル）に、書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。
- ▼ 返却も、必ず教員のチェックを受け、「図書貸出簿」にサインをもらって、各自責任を持って所定の書架（置いてあった場所）に戻して下さい。
- ▼ 3・4 年生はできるだけゼミの先生からチェックを受けて下さい。
- ▼ 貸し出し期限は 2 週間です。厳守して下さい。
- ▼ 以上を守らず、無断持ち出した者、貸し出し期限を守らない者には、相応のペナルティが課されます。

【地理学教室・購入図書資料リスト（2009 年度）】

※ 書名と出版社名のみ

※ 教室で購入したものは他にもあります。以下は一例にすぎません。

自分の興味に近いような本がありませんか？ 基本的に地理実習室に置いてありますので、まずは手にとって内容をみてみましょう。貸出できる本も多いので、興味ある本は借りてじっくり読んでみましょう。

【全集等】

- 地理教育講座Ⅰ～Ⅳ巻 古今書院
- 朝倉世界地理講座大地と人間の物語 朝倉書店
- 日本の地誌4 東北 朝倉書店
- 地理学文献目録＜第12集＞ 古今書院

【自然地理学関係】

- GISで学ぶ日本のヒト・自然系 弘文堂
- 数値予報と現代気象学 東京堂出版
- 日本の地誌 朝倉書店
- 群集生態学 文一総合出版
- NASAから毎日届く驚異の地球ナマ情報 技術評論社
- 野生動物調査痕跡学図鑑 北海道出版企画センター
- 鳥の自然史 北海道大学出版会
- 野生と環境 岩波書店
- 高山植物学 共立出版
- 日本樹木誌1 日本林業調査会
- 日本の動物はいつどこからきたのか 岩波書店
- 狼の民俗学 東京大学出版会
- ネズミの分類学 東京大学出版会
- シカの生態学 東京大学出版会
- ニホンカワウソ 東京大学出版会
- 温暖化と生物多様性 築地書館
- 亜熱帯・温帯多雨林 朝倉書店
- 森林大百科事典 朝倉書店
- 土の世界 朝倉書店
- 土壌調査ハンドブック 博友社
- 土をどう教えるか 上・下 古今書院
- 形とくらしの雑草図鑑 全国農村教育協会
- 軽石 八坂書房
- 東京湧水せせらぎ散歩 丸善
- 珊瑚の文化誌 東海大学出版会
- マダガスカル島 東海大学出版会
- 西インド洋地域研究入門 東海大学出版会
- 海洋の生命史 1～5 東海大学出版会
- 沙漠の事典 丸善
- 宇宙からのリモートセンシング コロナ社
- オープンソースGISグラスアプローチ第3版 開発社
- 日本地方地質誌6 中国地方 朝倉書店
- 暮らしと自然災害 電気書院
- 地形がわかるフィールド図鑑 誠文堂新光社
- 気象と大気のリモートセンシング 改訂第2版 京都大学学術出版会
- GISで学ぶ日本のヒト・自然系 弘文堂
- 地図の「読み方」術 誠文堂新光社
- 火山爆発に迫る 東京大学出版会
- 地震・地すべり・大崩落 立山カルデラ物語 ダイナミックセラーズ出版
- 海洋地球環境学 東京大学出版会
- 有珠山 火の山とともに 北海道新聞社
- 南アルプス お花畑と氷河地形 静岡新聞社
- 空間情報ガイド 空中写真・衛星画像 日本地図センター
- ジオパーク 地質遺産の活用・オンサイトツーリズムによる地域づくり オーム社

- Google SketchUp スタンダードガイド 秀和システム
- 生活・文化のためのGIS 朝倉書店

【人文地理学関係】

- 川の地図辞典 江戸・東京／23区編 之潮
- 古地図で見る名古屋 樹林舎
- レジャーの空間 ナカニシヤ出版
- 観光の空間 ナカニシヤ出版
- 地球儀の社会史 ナカニシヤ出版
- 世界の屋根に登った人びと ナカニシヤ出版
- 世界を見せた明治の写真帖 ナカニシヤ出版
- 宮崎だれやみ論 鉦脈社
- 怪異の風景学 古今書院
- 地理学と歴史学～分断への架け橋 原書房
- 空間の男性学 京都大学学術出版界
- 自然・社会・ひと～地理学を学ぶ 古今書院
- 地理学 京都の百年 ナカニシヤ出版
- 寺社参詣と庶民文化 岩田書院
- 鉄道という文化 角川選書
- 中国食事文化の研究 風響社
- 世界の葬送・墓地 法律文化社
- 沖縄県の地理 編集工房東洋企画
- 山は市場原理主義と闘っている 東洋経済新報社
- 創造都市のための観光振興 学芸出版社
- 鯨とイルカの文化政治学 洋泉社
- 大阪論 ブイツソーリューション
- オセアニア学 京都大学学術出版界
- 異文化トレーニング 三修社
- オープンスペース・アメリカ 左右社
- イギリス社会と犬文化 開文社出版
- 絵解きと縁起のフォークロア 森話社
- 里地里山文化論 上・下 農山漁村文化協会
- 文化による地域づくり 晃洋書房
- 江戸東京野菜 物語篇・図鑑編 農山漁村文化協会
- 日本からみた世界の諸地域(改訂版) 原書房
- アジアの交通と文化 成山堂書店
- 文化の見えるまち 公人の友社
- タイ事典 めこん
- 日本めん食文化の1300年 農山漁村文化協会
- 米国の中心地再生 学芸出版社
- 飲食文化論文集 清水弘文堂書房
- イスラーム世界の基礎知識 原書房
- マクドナルド7つの成功原則 出版文化社
- 中国人の日本観 三和書籍
- 風と環境の民俗 吉川弘文館
- 文化資本としてのエスニシティ 国際書院
- 日本一長い村トカラ 梓書院
- 文化としての農業文明としての食料 人文書館
- 民俗学と現代 三弥井書店
- ラテンアメリカ世界のことばと文化 成文堂
- 格差天国中国 旬報社
- 団地再生 水曜社
- アジア・太平洋人権レビュー2009 現代人文社

- | | | | |
|-----------------------------|---------------|------------------------|---------|
| ○ 沖縄 甘藷ものがたり | 農山漁村文化協会 | ○ 地理情報システムを用いた空間データ分析 | 古今書院 |
| ○ 有名建築その後 | 日経 BP 社 | ○ 進化する地政学 | 五月書房 |
| ○ こどものあそび環境 | 鹿島出版会 | ○ 地理空間情報の基本と活用 | 古今書院 |
| ○ 文化遺産と現代 | 同成社 | ○ 名山の民俗史 | 河出書房新社 |
| ○ 社宅街・企業が育んだ住宅地 | 学芸出版社 | ○ 名山の文化史 | 河出書房新社 |
| ○ 日本の不平等を考える | 東京大学出版会 | ○ 名山の日本史 | 河出書房新社 |
| ○ トヨタ経営大全1・2 | 日経 BP 社 | ○ 京都魅惑の町名 | PHP研究所 |
| ○ 世界中のアフリカへ行こう | 岩波書店 | ○ 地政学の論理 | 徳間書店 |
| ○ 越境するポピュラーカルチャー | 青弓社 | ○ マッキンダーの地政学 | 原書房 |
| ○ エミシ・エゾからアイヌへ | 吉川弘文館 | ○ さいたま文学紀行 | さきたま出版会 |
| ○ 文化観光論 上・下 | 古今書院 | ○ 東京の道事典 | 東京堂出版 |
| ○ 都市のにぎわいと生活の安全 | 日本評論社 | ○ 地球環境学への招待 | 三恵社 |
| ○ 津軽学 | 東信堂 | ○ むさしの古代散策手帖 | 東京地図出版 |
| ○ 成熟型ランドスケープの創出 | ソフトサイエンス社 | ○ 県の輪郭は風土を語る | 技報堂出版 |
| ○ 江戸・都市の中の異界 | 法政大学出版局 | ○ 都市型産業集積の新展開 | 御茶の水書房 |
| ○ 江戸・王権のコスモロジー | 法政大学出版局 | ○ 大企業の空間構造 | 原書房 |
| ○ ポピュラー文化 | 世界思想社 | ○ 衛星画像で知る温泉と自然の湯 | 草思社 |
| ○ 都市移住者の社会学的研究 | 法律文化社 | ○ 旅人の本音 | 彩流社 |
| ○ サッカーからみる日韓のナショナルイデオロギカルティ | 御茶の水書房 | ○ 地図から消えた東京物語 | 東京地図出版 |
| | 彰国社 | ○ 都市と地域の経済学 | 有斐閣 |
| ○ 復刻版 日本の広場 | 勁草書房 | ○ 温暖化と自然災害 | 古今書院 |
| ○ グローバリゼーションと音楽文化 | 丸善 | ○ 大学テキスト観光地理学 | 古今書院 |
| ○ 47 都道府県伝統食百科 | 丸善 | ○ 家族と都市移住 | 古今書院 |
| ○ 文化人類学事典 | 講談社 | ○ 大学テキスト地図読解入門 | 古今書院 |
| ○ 観光人類学の挑戦 | あるむ | ○ 現代東南アジア入門 | 古今書院 |
| ○ 空間と距離の地理学 | スタイルノート | ○ 土地利用変化のメカニズム | 古今書院 |
| ○ アラブの音文化 | さんこう社 | ○ 東京大都市圏の空間形成とコミュニティ | 古今書院 |
| ○ 新銀座学 | 学文社 | ○ 日本の産業地域社会形成 | 古今書院 |
| ○ 地理思想と地理教育論 | 鹿島出版会 | ○ 地球環境問題の基礎と社会活動 | 古今書院 |
| ○ 再現江戸の景観 | 帝国書院 | ○ 現代地理学入門 | 古今書院 |
| ○ 新詳資料地理の研究 | ダイヤモンド社 | ○ 日本人の相対的環境観 | 古今書院 |
| ○ クリエイティブ都市論 | ダイヤモンド社 | ○ 場所の空間学 | 古今書院 |
| ○ クリエイティブ都市経済論 | 原書房 | ○ 日本の空間認識と景観構成 | 古今書院 |
| ○ 産業立地論 | 鹿島出版会 | ○ 局地鉄道 | 塙書房 |
| ○ 再現江戸の景観 | ほおずき書籍 | ○ 鉄道日本文化史考 | 思文閣出版 |
| ○ 古道 塩の道 | 地歴社 | ○ 人文地理学 | ミネルヴァ書房 |
| ○ 新・モノでまなぶ世界地理 | 高文研 | ○ 岩波講座「都市の再生を考える」(全8巻) | 岩波書店 |
| ○ 地理を楽しく! | 自由国民社 | ○ 交通論おもしろゼミナール1~4 | 成山堂 |
| ○ 江戸東京残したい地名 | 古今書院 | ○ 人と水(全3冊) | 勉誠出版 |
| ○ 身近な地域を調べる | 随想舎 | ○ アジア都市文化学の可能性 | 清文堂出版 |
| ○ 全踏査・日光修験三峯五禅頂の道 | ソフトバンククリエイティブ | ○ 都市の異文化交流 | 清文堂出版 |
| ○ 江戸東京通物語 | 大月書店 | ○ 東アジア近世都市における社会的統合 | 清文堂出版 |
| ○ 温泉論 | 原書房 | ○ 近代大阪と都市文化 | 清文堂出版 |
| ○ 現代経済地域論 | 東北大学出版会 | ○ 都市文化理論の構築に向けて | 清文堂出版 |
| ○ 産地組織のマネジメント | | ○ 文化遺産と都市文化政策 | 清文堂出版 |

【地理学教室・購入主要備品リスト（2009 年度）】

Trimble GPS Pathfinder SB 1 式
学生用パソコン一式(MS オフィス付き) 4 セット

カメラ用レンズ 1 式

など.

* 地理学教室の備品・電子データ資料等は教員の指導のもと、学生も使用することができます。
以前に購入した国勢調査の電子データ（従業通学データ）、商業統計表データ（立地環境特性別統計編（商店街ごとの売上などが掲載されたデータ））などもあります。卒論でも有効に使えます。詳しくは教員（とくに加藤）まで。

【製本・PDF 化して保存される卒業論文主題(2009 年度)】

- ・地理学教室では、1986 年度から 2009 年度までに提出された卒業論文のうち、443 編を優秀卒業論文として保存しており、そのリストは地理学教室ホームページに掲載されています。今年度の卒業論文のうち、優秀卒業論文として保存されるのは、下の 8 論文です。

2003 年度以降の優秀卒業論文はホームページから閲覧することができ、下の論文もそこに含まれます。ただし、印刷はできません。

閲覧にはパスワード等が必要になります。これに関しては講義やゼミの際に、地理学教室専任教員から聞いて下さい。不明な点があれば、担当の長谷川 (hasegawa@kokushikan.ac.jp) まで問い合わせてください。

- ・2010 年 3 月 16 日（火）に行われた全国地理学専攻学生卒業論文発表大会（「卒論の甲子園」ともいわれる各大学の優秀卒業論文の発表会：日本地理教育学会主催）では、飯塚正樹（長谷川ゼミ）、福島 清（加藤ゼミ）の両君が発表しました。

氏 名	表 題	所属ゼミ
木村 厚俊	静岡県南部恵比須島における波食棚の微地形について	長谷川ゼミ
市川 拓弘	全国における降水パターンの地域性とその経年変化について	野 口 ゼ ミ
甘利 尚也	山梨県芦川峡における河食ポットホルの分布状況と形態について	長谷川ゼミ
伊藤 恵里子	琉球諸島における高島と低島の土地利用変化 ー二時期の土地利用図と農林業センサスによる考察ー	長谷川ゼミ
飯塚 正樹	薩摩硫黄岳におけるガリ侵食の経年変化 ー1946 年～2007 年のオルソ空中写真による分析ー	長谷川ゼミ
福島 清	首都圏における鉄道利用客数の変化と郊外都市の発展	加 藤 ゼ ミ
藤岡 巧	千葉県旭市における環境保全型農業の存在意義 ー旭地区を事例としてー	宮 地 ゼ ミ
向後 知美	農産物直売所の現状と課題ー千葉県の直売所を事例にー	宮 地 ゼ ミ

【2010 年 3 月卒業生の進路・就職先】

- N S C
- なめがた市農業協同組合（農協観光）
- 馬車道 （飲食業）
- ㈱ANA グランドサービス
- ㈱澤光青果 （八百屋）
- セントラル警備保障
- 陸上自衛隊（任期制）
- 創和測量コンサルタンツ
- 警視庁
- 給湯システム㈱
- 北海道地図㈱
- ㈱東日本旅客鉄道
- アークインターナショナル㈱ （化粧品メーカー）
- 国土館大学事務職員
- ㈱ランドクリエイト （賃貸仲介業）
- 佐川急便
- ㈱コバヤシ （インテリア商社）
- 横浜丸中青果㈱ （卸売）
- アトリエ・プラン （地図製作）

※ ただし、2 月初旬時点で教室に、業種だけでなく企業名等も含めた報告のあった分のみ。

【2009年度における教員の研究活動】

野口 泰生 教授

口頭発表：

- ・野口泰生：全国の風向逆転日（海陸風日と山谷風日）における風向の毎時変化. 日本地理学会 2010 年春季学術大会, 2010 年 3 月 27 日, 法政大学.

長谷川 均 教授

論文：

- ・長谷川均・後藤智也・鈴木敬子（2009）：「辺野古・大浦湾サンゴ礁マップ」のためのベースマップ，地図中心，2009 年 7 月号（442 号），pp.12-15.
- ・東郷正美・長谷川均・後藤智哉（2009）：最終氷期の死海 "Lake Lisa", 法政大学多摩研究報告, 24, pp.1-2.

口頭発表：

- ・Tomoya Goto, Hitoshi Hasegawa, Ken Matsumoto : APPLICATION OF SATELLITE REMOTE SENSING TECHNIQUES TO ANCIENT SITE MAPPING: A CASE STUDY OF THE MIDDLE EUPHRATES AREA, SYRIA, 22nd CIPA Symposium, October 11-15, 2009, Kyoto, Japan.
- ・長谷川 均：陸が変われば海も変わる—開発行為に伴うサンゴ礁浅海域の変化，日本地理学会 2009 年秋季学術大会シンポジウム「サンゴ礁をめぐる自然と人間の関係誌」，2009 年 10 月 25 日，琉球大学.
- ・石原光則・長谷川 均・林 誠二・山野博哉：衛星画像を用いた石垣島轟川流域における土地被覆分類の検証，日本サンゴ礁学会第 12 回大会，2009 年 11 月 27 日，沖縄県本部町立中央公民館ホール.
- ・長谷川均・鈴木倫太郎・柳沢康二：多良間島の現成サンゴ礁微地形とその変化，日本地理学会 2010 年春季学術大会，2010 年 3 月 27 日，法政大学.
- ・安部真理子・大野正人・長谷川均・中井達郎・後藤智哉・鈴木倫太郎・中野義勝：沖縄島・大浦湾におけるアオサンゴ (*Heliopora coerulea*) 群集の調査結果，日本地理学会 2010 年春季学術大会，2010 年 3 月 27 日，法政大学.

学会活動、社会活動：

- ・日本地理学会 資格専門委員
- ・日本地理学会 地理情報システム技術資格推進委員
- ・地学雑誌 編集委員 （2009 年 6 月まで）
- ・日本サンゴ礁学会 評議員，選挙委員会委員長 （2009 年 6 月まで）
- ・日本地理学会 企画委員 （2010 年 3 月まで）
- ・日本地理学会 地域調査士制度準備委員 （2010 年 3 月まで）

その他：

- ・長谷川均（2009）：沖縄の海を守るためにできること. AGIO, 2009 SEPTEMBER, pp.16-21, クレアル・ジャパン発行.
- ・長谷川均（2009）：当山昌直・安溪遊地編（2009）：『野山がコンビニー沖縄島のくらし（聞き書き・島の生活誌①）』，盛口満・安溪貴子編（2009）『ソテツは恩人ー奄美のくらし（聞き書き・島の生活誌②）』（書評），地図中心，2009 年 8 月号（443 号），p.41.
- ・シンポジウムのパネラー，シンポジウム「スタートします地域調査士」，日本地理学会 2010 年春季学術大会シンポジウム，2010 年 3 月 27 日，法政大学.

内田 順文 教授

その他：

- ・内田順文（2010）：アニメの中の物語性ー旅物語としてのアニメ『宇宙戦艦ヤマト』ー，まほら，62, p.p.20-21.
- ・内田順文（2009）：なぜ日本人は旅行をして疲れてしまうのか vol.1ー2. 国士舘大学 学びのコラム，2009 年 12 月 21 日，2010 年 1 月 5 日版 (<http://www.kokushikan.ac.jp/column/index.html>) に掲載.

岡島 建 教授

論文：

- ・岡島建・宮下智宏（2010）：1920年代における局地鉄道の計画と建設―山形県村山地方を事例にして―，国土館大学地理学報告，18，pp.1-17.

学会活動：

- ・歴史地理学会 評議員，常任委員（庶務責任者）
- ・交通史研究会 常任委員，総務・会計責任者

その他：

- ・岡島 建（2009）：河川交通政策と近代公権力者．山根拓代表『公権力の空間認識に係る近代歴史地理学的研究』（科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書），pp. 46-49.

磯谷 達宏 教授

論文：

- ・磯谷達宏（2009）：植生学の展開の4つの方向性．植生情報，13，pp.22-23.
- ・岩崎慶太・磯谷達宏（2010）：茨城県北部の照葉樹林分布限界域における二次林の分布および組成と構造について．国土館大学地理学報告，18，pp.19-35.

口頭発表：

- ・岩崎慶太・磯谷達宏：茨城県北部の照葉樹林分布限界域における二次林の分布および組成と構造について．植生学会第14回大会，2009年11月1日，鳥取大学.
- ・近藤博史・大野啓一・磯谷達宏：中国山地東部地域におけるシオジ林とサワグルミ林の分布とその要因．植生学会第14回大会，2010年11月1日，鳥取大学.
- ・磯谷達宏：地理学・生態学等における景観の概念とその人文科学との関連性．国土館大学人文学会シンポジウム，2009年11月4日，国土館大学.
- ・澤田佳美・金田考示・丸山久美・武生雅明・中村幸人・吉田圭一郎・磯谷達宏：アカガシとイヌガシの分布上限域における結実量．第57回日本生態学会大会，2010年3月16日，東京大学.

その他：

- ・倉本 宣・磯谷達宏・野呂恵子（2009）．里山の管理再開にともなって起こること．大学院研究科共同研究報告書，5，pp.85-106．明治大学大学院.
- ・平成21年度人間文化研究機構国立歴史民俗博物館共同研究員（研究課題：「地理写真」の資料化と活用），国立歴史民俗博物館.

加藤 幸治 准教授

論文：

- ・西 菜保美・加藤幸治（2009）：青梅街道における建築物が描くスカイラインの特徴．都市地理学，4，pp.28-40.
- ・加藤幸治（2010）：事業所サービス業．経済地理学会編『経済地理学の成果と課題 第Ⅶ集』日本経済評論社，pp.101-106.

口頭発表：

- ・加藤幸治・鍛塚賢太郎：市区町村別データからみた日本における職業別就業者の地域的展開．日本地理学会2009年秋季学術大会，2009年10月24日～25日，琉球大学.

学会活動：

- ・経済地理学会 評議員，常任幹事，総務委員長

宮地 忠幸 講師

論文：

- ・宮地忠幸(2009)：多摩丘陵地域．谷内達・佐野充・菅野峰広編『日本の地誌 5 首都圏Ⅰ』朝倉書店，pp.258-270.
- ・宮地忠幸(2009)：北部地域（埼玉県における農業生産の位置とその地域性，水稻作の変貌，養蚕業の衰退と園芸農業の成長）．谷内達・佐野充・菅野峰広編『日本の地誌 5 首都圏Ⅰ』朝倉書店，pp.463-470.
- ・宮地忠幸(2010)：農山漁村．経済地理学会編『経済地理学の成果と課題 第Ⅶ集』日本経済評論社，pp.160-175.
- ・宮地忠幸(2010)：農業地域情報のデジタルアーカイブの構築．水嶋一雄編『農業地域情報のアーカイブと地域づくり 改訂版』成文堂，pp.14-23.
- ・宮地忠幸(2010)：中山間地域農業の変容と振興課題－福島県阿武隈高地－．水嶋一雄編『農業地域情報のアーカイブと地域づくり 改訂版』成文堂，pp.107-123.
- ・宮地忠幸(2010)：山間地農業・農村政策を考える．山中進・上野眞也・鈴木康夫編『山間地政策を学ぶ』成文堂，pp.189-211.

口頭発表：

- ・高柳長直・宮地忠幸・両角政彦・今野絵奈：地理的表示制度と野菜産地のローカル化－北イタリアにおけるトレヴィーゾ・ラディッキオとロマーニャ・エシャレットの事例－. 日本農業経営学会, 2009 年 9 月 21 日, 東京農業大学.
- ・宮地忠幸：農業体験プログラムを通じた農業・農村学習の意義－大学生による農業体験の社会的意義をめぐる予察的考察－. 日本地理教育学会 ESD 研究グループ, 2009 年 10 月 3 日, 専修大学.
- ・高柳長直・宮地忠幸・両角政彦・今野絵奈：地理的表示制度による北イタリアにおける野菜産地形成－農産物をめぐるグローバル化とローカル化 (4) －. 2009 年度日本地理学会秋季学術大会, 2009 年 10 月 25 日, 琉球大学.
- ・宮地忠幸・鈴木敦郎・金城至洋：中山間地域における耕作放棄作物の資源化と特産品開発－阿武隈高地における遊休桑園を活用した新たな取り組み－. 2009 年度日本地理学会秋季学術大会 産業経済の地理学研究グループ, 2009 年 10 月 25 日, 琉球大学.
- ・宮地忠幸：中山間地域における農商工連携による地域活性化の可能性と課題－NPO が核になった桑加工品の開発と商品化を事例として－. 産業学会東部支部例会, 2009 年 11 月 14 日, 中央大学.
- ・堀川大輔・関根悟・富塚哲史・宮地忠幸：「中山間地域農業参画プロジェクト」から学び・考えたこと－二本松市東和地区西谷集落での取り組み－. 福島県集落活性化県民討論会, 2009 年 11 月 19 日, 会津若松ワシントンホテル.
- ・宮地忠幸：農商工連携による地域づくりの可能性. 地理空間学会, 2010 年 3 月 10 日, 筑波大学.
- ・宮地忠幸・菊池俊夫・山本充：東京都練馬区における農業体験農園の発展に果たす人的ネットワークの地域的役割－農地の市民的利用のドライビングフォースとして (商品化する日本の農村空間に関する調査報告 15) －. 2010 年度日本地理学会春季学術大会, 2010 年 3 月 27 日, 法政大学.

学会活動：

- ・経済地理学会評議員，総務副委員長
 - ・日本地理学会代議員，集会専門委員
 - ・歴史地理学会集会委員
- ほか

その他：

- ・日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会 認証判定委員
- ・全国商工会連合会 小規模事業者新事業全国展開支援事業予備審査委員

※ 毎年、掲載している教員在室時間表は、時間割調整等が終了した後（4 月中旬以降）に、Newsletter の臨時号に掲載して配布しますので、しばしお待ち下さい。